



環境保護活動に一役！

NTT西日本労組のWESTアクションに呼応

NTT労組グループの環境統一行動に退職者の会も参加

NTT労組が環境保護と社会貢献の一環として全国的に取り組んでいる活動の高知県での取組みが、5月23日(土)に



高知市の中央公園一体での清掃が行われた。現職労組員に加え、退職者の会高知県支部協議会からの参加者ら35名が、2時間近くゴミや落葉等を拾い集めた結果、高知市のシンボル広場は見違えるほどの「ピッカピカ」となり、散策中の市民等から「まあ、苦勞サマ！」との声を頂いた。退職者の会からの参加者は、新調の「腕章」着用で元氣ハツラツぶりの活躍であった。

玄界灘に浮かぶ国境の島を訪問

15月26〜29日 退職者の会電友会OB親睦旅行



退職者の会と電友会共催のOB親睦旅行は今年で4回目を迎へ、個人旅行では実現が難しい玄界灘に浮かぶ歴史と異文化の玄関口を担ってきた玄岐、対馬を訪ねた。



夜半に松山港を出る関西汽船に乗船、翌朝には関門海峡を抜け無法松の一生で有名な小倉港へ着岸。直ちにバスで九州北部を西進、佐賀県唐津東港で2度目の船に乗り継ぎ玄岐・印通寺港に到着。元寇の乱以降たくさんの死者の冥福と天下の安泰を祈るため

対馬は元寇の島とも言われ、元寇軍と戦った宗資国以下80名が全滅したのを慰める

各地区でのOB会を開催

南国・香美・香南地区OB交流会開催

同会は、それぞれの地域で年毎に交代して合同で開催しているもので、今年は3月8日香南市野市町の「すし正」に20名が集まって開催された。会には、次期衆議院選2区出馬予定の「くすもと清世」さんも駆けつけ決意表明を行い、集まった仲間達とともに必勝を誓い合った。

その後の懇親会では、久しぶりに会う仲間と「元氣が一番、でも飲みすぎなよ」一来

高知・旭地区OB会旭天神山に集う

今回初めて平日開催となったOB会が、3月26日満開の桜の下で23名の参加者を経て開かれた。近藤強高知市議会議長は公務で出席できなかったが、次期衆議院選高知一区

年又会おうね等ワイワイ、ガヤガヤと旧交を温めあい、来年は「山田の桜の時期に花見を兼ねた交流会」を開催すること、「必ず誰かに声をかけ運動をする」ことを誓い合って解散した。

ため建立された小茂田濱神社を訪れた時は晴天にもかかわらず強い風で、ふと今日は日本海海戦の開始日であったことが頭をよぎり「天気晴朗なれど波高し」の思いに浸る。島から韓国まで僅か49・5kmと聞き驚くが玄界灘は白波と靄で遠望がきかず残念。

対馬から玄岐への帰路は高速船で渡ったが波頭を突き切つて進むので所要時間は一般船の半分で1時間。2度目と

なる玄岐島では猿岩、黒崎砲台跡等を訪ねたが、玄岐、対馬は国境最前線の意を強くする。ホテルへ着くと翌朝に九州へ渡る船が波浪のために欠航との情報に大慌て、別便の大型船へ予約変更で対応できたが、案の定、波高が高く船は大揺れで酔いの人もいたが無事帰還。

参加者からは来年も合同旅行を望む声が多く聞かれた。(速渡 記)

対馬・玄岐五月並川まきくに

- ・唐船を沈めし海や 対馬南風
- ・石屋根に風の重たき島五月
- ・石屋根の納屋の大鍵 対馬南風
- ・軒に差す菖蒲 対馬の海女の村
- ・玄海の卯波フェリーの底を突く
- ・雲丹井の雲丹分けてとり雲丹嫌い
- ・まほろばに石の田の神 玄岐五月
- ・あめんぼう 六法を踏む雲の上

宿毛・大月OB会総会和やかに開催

宿毛・大月OB会は、3月30日に中央老人憩いの家に24人が参加して開かれた。

集いは事務局長の越智さんの司会で始まり、検診で欠席した石黒会長に代わり、小松副会長が開会の挨拶を行った。引き続き退職者の会の今井会長から、退職者の会活動の現状が説明された。議事は、各部の部長より活動報告と今年度の事業計画について提案がありいずれも承認され、新年度の役員も満場一致で承認された。

懇親会は、場所を国民宿舎「椰子」に移し、芸達者連の珍妙な踊りやカラオケの熱唱などで和やかな一日を過ごして散会した。

待望の「長浜・瀬戸・横浜地区OBの集い」が開かれる

高知市内3箇所目となる「OBの集い」が4月6日「瀬戸東公民館」において27名の退職者を集め開かれた。

「集い」は石原幹事の司会で始まり、今井会長の挨拶に続き情報労連の田上副議長からも連帯の挨拶があった。また、忙しい仕事の合間を

縫って駆けつけた近藤強高知市議会議長からお祝いの言葉を頂いた。

初めての「集い」であったため、引き続き行われた懇親会ではあちこちで大いに話が弾み、あつという間に時間がたち、別れる時には来年も是非開いてほしいとの声が数多く聞かれた。

室戸地区で地域交流会開催



室戸地域を主体とした室戸OB会の総会と地域交流(親睦会)を会員16名の参加で5月9日(土)割烹「初音」で開催し、平成20年度の総括と今年度の事業計画を決めた。本年度から角田佳資さんを新会長に選任し総会を終了した。

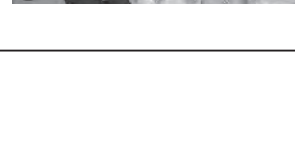
親睦会には、支部協の岡村事務局長も交え「久しぶりに会った人」「時々会おう人」など時間を忘れ、話に花が咲き楽しかった。

久しぶりの再会で前半は話ばかりだったが、お酒で酔いが回った後半は歌・踊りと和やかな内に予定の2時間は過ぎ、来年もお会いできる事を願いながら散会した。

土佐・春野地区居住者会開催

昨年の会で「開催場所を土佐市にしては？」との意見により今年は「国民宿舎土佐」で6月25日(木)に開催し、参加者は24名であった。

退職者の会「矢野副会長」より、共済活動を含めた「会」の現況報告の挨拶の後、昨年度の会計報告をし、野本会員の音頭で乾杯をし懇親会に入った。



第23回

どうナツチュウガ?



国会議員の世襲問題が問われている。三親等以内、同一選挙区からは公認しないとか！適用は次回からにするとか、いや次々回からにするとか。

世襲による有利さを防ごうというのだろうか？果たしてそんなことで、良い政治が期待できるものだろうか。単に当選第一主義で員数確保策よりも議員の質の方がもっとと問われてもよいのではないかと思ふのだが。